

# 体験！伝統文化

其の参

平成 28 年 12 月 16 日発行



京丹波町立下山小学校

丹波八坂太鼓

た ん ば や さ か だ り こ

下山小学校では、今年度の総合的な学習の時間のテーマを「社会 ふれ合い 高め合い」とし、地域の人とのふれ合いの中で学習を積み上げたり、ゲストティーチャーに指導を受けたりしながら学習を進めています。また、「地域で支える学校教育推進事業」の指定校として、地域教材の開発や地域人材の活用等、地域連携を進めています。



6年生では、総合的な学習の時間の学習テーマを「学ぼうふるさとの歴史」として、地元の伝統太鼓である「丹波八坂太鼓」について学び、その成果を学習発表会や成人式などで発表しています。

## 丹波八坂太鼓

丹波八坂太鼓は京都祇園八坂神社の御分社である尾長野八坂神社に江戸時代頃から伝わり、病退散と五穀豊穡を願って打たれる伝統太鼓です。

その昔、この地の農家では牛は家族同様に大切にされていました。あるとき、牛の疫病が流行して村一番の立派な牛も命を落とし、村人たちはその牛の皮で太鼓をつくり、病気退散と五穀豊穡を願って尾長野八坂神社前で打ち鳴らしたのが丹波八坂太鼓の始まりといわれています。(京丹波町観光協会ホームページより)

今年は10月9日に開催された「第40回全国育樹祭式典」や、第3回宮城県南三陸町仮設住宅での支援演奏(7月)などで、迫力のある丹波八坂太鼓の演奏が披露されています。



(全国育樹祭での演奏の様子)

# 文化を学ぶ

6年生児童は11月の発表に向けて、6月から延べ12回の練習を重ねました。太鼓の実技練習に入る前に、丹波八坂太鼓保存会の方から太鼓を演奏するときの心構えや丹波八坂太鼓の歴史について学びました。保存会の方からは「地域に根付いた伝統をこれからも伝えてほしい。」との思いが伝えられました。



太鼓の練習では姿勢やバチの使い方などの基本動作一つ一つを丁寧に教わり、かけ声をかけたりしながら音を合わせて、演奏を覚えていきました。



練習を続けていくうちにどんどんうまくなって楽しくなりました。そして、笑顔も増えてよかったです。練習ははじめ厳しく感じたけど、発表前にはとても優しく教えてもらって良かったです。みんなが一つにならないといい演奏ができないことが分かりました。

## 第17回 DON と来い / 丹波八坂公演

平成28年11月27日(日)、丹波八坂太鼓保存会が主催する「第17回DONと来い / 丹波八坂公演」が、下山小学校体育館で開催されました。

オープニングでは、6年生が気持ちを一つにして伝統曲「八坂」を打ち鳴らしました。体育館いっぱい集まった観客の前で力強く躍動的な太鼓演奏を発表し、大きな拍手が起こっていました。

また、子どもたちは「お田植えまつり～八坂田楽～」の演奏に合わせて踊りも披露し、伝統芸能と一緒に表現していました。



バチを落とすこともなかったし、かけ声も大きな声でできていて、とてもよかったです。これまでの成果をすべて出しきれたかなと思いました。次の成人式の時もしっかりみんなの心を一つにしてがんばりたいです。

南丹教育局管内の小・中学校における伝統文化に関する取組を、「体験！伝統文化」として南丹教育局ホームページに掲載しています。

南丹教育局ホームページ  
<http://www.kyoto-be.ne.jp/nantan-k/cms/>

南丹教育局

検索

